



旗じるしは『技術的拠りどころ』

所 長 神 野 好 孝

このたび、4月1日付で当センター所長を拝命致しました。間世田前所長同様、よろしく申し上げます。

我が国の経済は、最近では回復が踊り場の状況との認識のようですが、鹿児島では規模・業種や地域によるばらつきがあるようで、実感としてはある種の閉塞感もあるようです。

このような中で本県では、将来のあるべき姿や進むべき方向性を示す将来ビジョンを3月28日付で策定しました。ここでは、『安心・安全』、『活力・快適』、『共生・有徳』を基本的理念に据えて「日本一の暮らし先進県」を目指しています。そして、この視点に基づき、今後挑戦していくべき課題として10の挑戦を掲げています。この中で、当センターが取り組むべき課題は、挑戦5「新時代に対応した戦略的な産業おこし」が該当します。取り組みの方向性は、重点業種の誘致及び振興、地域特性を生かした新産業の創出、航空宇宙関連産業の振興、知的創造サイクルの確立などを示しています。

また現在、当県においては「力みなぎる・かごしま」を推進するため「産業おこしへの挑戦」を掲げ、自動車関連産業、電子関連産業、食品産業を重点業種として戦略的な産業振興を図っているところであります。

さて、当センターにおける研究開発は、企業の求めるものに対応した研究開発に取り組むとともに、積極的に国等による競争的研究資金の獲得に努め、大学や企業等との連携を強化するなど戦略的な研究開発により、企業の技術力や市場競争力の向上を支援することを使命としております。

近年の研究成果のうち、低カロリーもろみ酢や全量いもの焼酎は、企業との共同研究が商品化された例として新聞等で大いに話題になりました。また、緑化基盤や遮熱塗料などシラス関連製品も発明表彰や環境大臣表彰、職員表彰など各方面か

ら大変に評価されています。

今年度の研究開発は、九州各県工業系公設試連携の共同研究を含む14テーマの研究開発を実施致します。また、今年度から提案公募型受託研究を迅速に実施出来るようになりました。

技術支援としましては、企業等からの技術相談、依頼試験への対応や企業等への設備機器の開放などを通じて県内の企業活動を支援することを組織の役割としてきました。これらはセンターにおける技術相談だけでなく、積極的な企業訪問の実施等により、気軽に相談できる技術支援を推進したいと思います。過去2年間実施して参りました一人10社の企業訪問およびセンターの公開でありますラボ・ツアーを今年度も引き続き実施する予定であります。

そして今後は、更に企業や市場ニーズの把握に努め、市場性・経済性・社会性のある研究開発を産学官連携を図りながら積極的に実施し、中小企業などが取り組む高付加価値製品・新技術の創出に貢献して参ります。

そのためには、研究成果が実用化に結びつくよう知力を結集し、(財)かごしま産業支援センターなどの支援機関をはじめ、大学など学術研究機関との連携も深めながら、社会や経済の変化に対応出来る足腰の強い「地域に根ざした試験研究機関として」の工業技術センターをめざして参ります。

当センターは昨年12月をもって20周年を迎えました。そして、これまで以上に県内中小企業の「技術的拠りどころ」として、旗じるしは変わることなく使命を果たしたいと存じます。

どうぞ関係各位の御支援・御協力を御願致します。